

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和6年8月23日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・産卵により生殖巣が空になっている個体が多く、さらにグリコーゲン量が減少する等、貝肉の状態は、前月から悪化していた。
- ・昨年の同時期に比較して出現率は低いですが、真珠層の褐変個体が確認された。
- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は大きく減少し、中部以南の海域では健康度の指標となる3%を下回った。
- ・8月中旬に平年値よりも3～4℃高めに推移していた水温は、現在は平年並みとなっている。
- ・今後年間で最も高水温になる時期を迎え、栄養の蓄積状態も悪化していることから、引続き貝の管理に御注意願います。

2 調査結果一覧

() 内は昨年同月の値

漁 場 ^{*1}	貝 の 種 類 (R 5 産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北 部	日中交雑貝 ^{*2}	3.1(12.0)	0.0(-0.7)	0	0%(5)
中 部①	日中交雑貝	2.9(6.5)	-0.2(-0.1)	0	5%(15)
中 部②	日中交雑貝	2.1(8.2)	-0.8(-0.7)	0	0%(5)
南 部	日中交雑貝	1.1(7.9)	-0.8(-0.1)	0	0%(5)
平均値		2.3(8.7)	-0.5(-0.4)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

3 調査方法

- ・5月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日2日前をめぐりに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量(%):アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a 値: 閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。

「アコヤガイ飼育管理の手引」公開中

<https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/111520.pdf>